

ケースで学ぶ「論理思考」～1日特訓講座～

※すでに『論理力』公開テストを受験いただいている方には受講割引がございます

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2016年 10月 17日(月)

10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)

《開催あたって》

論理的に考えること、話すこと、書くことは仕事を進める上で必須のスキルです。論理的であることを「理解すること」は容易ですが、「実践すること」はそれほど容易ではありません。私たちにとって、「理解すること」と「実践すること」は往々にして隔りがあるものです。その隔りを埋めるために、1日(終日)、実践的なケース問題に向き合いながら徹底的に「脳のトレーニング」をしませんか? 本講座では、事前に『論理力』公開テストを受験いただき、フィードバック資料からご自身の弱み(意識していない部分)を理解したうえで、当日の講義に参加いただけます。

講師 (株) プロセス・ラボ / (有) ウィルミッツ 代表取締役 松浦 剛志 氏

講師紹介

京都大学経済学部卒。東京銀行審査部に企業再建を担当。その後グロービス(ビジネス教育、ベンチャー・キャピタル、人材事業)にてグループ全体の管理業務、アントレピア(ベンチャー・キャピタル)にて投資先子会社の業務プロセス設計・モニタリング業務に従事。02年人事、会計、総務を中心とする管理業務のコンサルティングとアウトソースを提供する会社、ウィルミッツを創業。06年業務プロセス・コンサルティング機能をウィルミッツから分社化し、プロセス・ラボを創業。業務現場、コンサルティング、アウトソースのそれぞれの経験から培った業務プロセスを理解・改善する実践的な手法を開発し研修・コンサルティングを提供している。

《申込書送付先》 FAX▶ 03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

通常価格 (未受験の方)	正会員	37,800円(本体価格 35,000円)	一般	41,040円(本体価格 38,000円)
割引価格 (受験済の方)	正会員	32,400円(本体価格 30,000円)	一般	35,640円(本体価格 33,000円)

受講希望に「✓」をご記入下さい。		<input type="checkbox"/> 通常価格(未受験)(161070-0101※)		<input type="checkbox"/> 割引価格(受験済)(161070-0101※)	
ふりがな	会社名				
住所	〒				
TEL				FAX	
ふりがな	ご氏名		所	属	職
E-mail					

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

- 参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
- ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
- お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

・プログラム・

■ご案内■

※ご案内①: すでに『論理力』公開テストを受験いただいている方には受講割引がございます。

※ご案内②: 9月30日(金)までにお申し込み頂いた方には、10月初旬を目途に事前にメールで『論理力』公開テストをお送りいたします。(お申し込みの際は、メールアドレスをご記入ください。お申し込みいただいたお客様情報は、受験用ファイルの送付、その後の事務連絡のため、一般社団法人企業研究会と有限会社ウィルミッツで共有いたします。)10月1日以降のお申し込みの場合、『論理力』公開テストを受験できない場合がございますのでご承諾ください。

※ご案内③: 本講座の冒頭で、『論理力』公開テストの問題のうち、正解率の低い数問について解説をします。(本講座で扱うケース問題は『論理力』公開テストとは異なる問題です。)

■プログラム

- そもそも正しく伝える「言葉使い」とは
 - 論理は言葉を使って表現する
 - 正しい言葉を正しく使う
ケース1)『消費者の動向について持論を述べよ!』
- モノゴトを構造で整理・理解する方法とは
 - 論理的であるとは筋道が通っていること
 - 筋道:「全体⇄部分」などの関係は三角形
ケース2)『営業マンの言いたいことを整理すると…?』
- モレやダブリを排除するミーシー(MECE)とは
 - 物事を「モレ・ダブリのない」構成要素に分解することは重要
 - 全体を定義し、切り口を決めて、要素に分解する
ケース3)『ショッピングモールの駐車券、今回は無料…?』
- 説得、主張に不可欠な帰納法・演繹法
 - 帰納法: 個別の事象から共通概念を導き出す手法
 - 演繹法: 複数の事象から必然的な結論を導き出す手法
ケース4)『A社の家電は本当にすぐに壊れるのか…?』
- 情報から言えるメッセージを抽出するグルーピング・抽象化とは
 - 似たものをグループに括り、共通する意味で抽象化する
 - モノゴトを下から積み上げるが、理解する人は上から
ケース5)『プロジェクトの進捗報告、問題点は何個ある…?』

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。